

民報
おうしゅう

読者版

発行 所 張 出 州 奥 旗 赤
59 目 3 丁 大 手 沢 水
Tel 24-2021
Fax 24-2049

「産科」設置を求める声多数、「精神科」も！



今年度 第1回新医療センター検討懇話会開かれる

5月23日奥州市役所7階委員会室で令和6年度第1回新医療センター検討懇話会(写真左)が開催されました。

担当者から、「奥州市新医療センター整備の概要」が示され、次の2つを掲げています。

①病床規模は、80床とし、規模としては100床程度のペースを確保する。

②総合水沢病院の診療機能を維持し、総合診療科とリハビリテーション科を新設する。

新医療センターに産科(分娩機能)を設けることについては、「医師不足により、県が定めている『広域的な周産期医療圏』

の3病院(県立中部病院・北上済生会病院・県立磐井病院)の産科の維持でさえ厳しい状況にあるといわれている」として、「新設は極めて困難です」と従来の説明を繰り返しました。

「産科」設置の

要望相次ぐ

「産科」設置困難とする市の説明に対し、質疑・意見で、「むずかしいことは理解するが、将来的ニーズを見たときに、医師確保の努力をしてほしい。将来、“施設ができたからでません”とならないようにしてほしい」、「果たして、本気になって産科の医師を呼び込む気があるのか?それが感じられない。将来にわたって、必ず連れてくるという姿勢が必要だ」、「公立病院はニーズの変化にこたえていくことが必要だと思う。市民ニーズの点で考えると、どうしても周産期医療は必至だと思

う、実際分娩できる機能を持つ必要があると思う」等々意見が相次ぎました。担当者は、「『周産期医療』

については誰に聞いても同じだと思ふ。新医療センターについては、サポートをしていこうというところで考えている」と答えました。

「精神科」の要望も

複数だされる

「精神科」について、市内の病院では、新規の受け入れができなくなっている。困っている家庭が多くあるとして、医師の確保を求める声が出されました。

また、「青少年の性などの健康問題で悩む保護者が多いと思う。診療クリニックは混んでいる」として、検討を求める声が出されました。

担当者は、「精神科」については検討したい。青少年については、保健センターの相談機能を充実させ対応したいと答えました。

基本設計・実施設計は

検討懇話会には諮らない

担当者は、「整備基本計画」は9月に定めたとして、基本設計・実施設計は検討懇話会に諮らない方針であると説明しましたが、公募委員から、「市民レベルで議論できるようにしてほしい」と要望が出されました。



要請書を手渡す高橋基氏と二階堂純務企画部長

県内自治体キャラバン

国民大運動岩手県実行委員会

5月24日、国民大運動岩手県実行委員会(代表 岩手県労連議長・中野るみ子)は、奥州市役所を訪ね倉成淳市長宛に要請書を手渡し、懇談を行いました。実行委員会側は、高橋基氏(生協労組)、日本新婦人の会水沢支部代表3名、全商連胆江民商事務局長永山哲氏、奥州市側は、二階堂純総務企画部長他2名が対応しました。

要請は、①憲法と平和について、②震災からの復興への取り組みや防災対策等について、③地域課題について、市の考え方を文書で回答を求めるものです。日本共産党議員団からは、瀬川貞清議員と今野裕文議員が同席しました。

日本共産党
衆議院議員
高橋ちづ子

八戸市で演説会

5月25日

Facebookより

青森県八戸市で演説会。会場いっぱい！田端みゆき県議の県政報告、苦米地あつ子市議の司会。久保しよう地区委員長の訴え。内閣支持率少し上がったと言ってもまだ3割未満。この情勢つくりだしたのは赤旗の裏金問題のスクープとみんなの頑張り。連日の質問だけど、

政治は変わると実感！「これまで共産党はあまり好きではなかったよ。でも田端さんに会って、後援会に参加してみたり・・・今の自民党は許せないし。」で、いいもんだと思ったのね?と私が聞いたら、「うん!」と返事してお仲間になってくれました!男性と女性、二人がお仲間!

